



耳より info



防災お役立ち情報

「地震体験車」で震度7を体験

東日本大震災から8年が経ちました。あの時の記憶は、昨日のように私たちの脳裏にいまだに焼き付いています。災害が毎年のように起こる昨今、いつ、また災害に見舞われるかもしれません。やはり「備え」と「対策」は必要です。

秋田県では、震度2～7までの揺れを体験できる「地震体験車」というものを導入しております。あなたの地域でも、宮城沖中部地震や日本海中部地震などの大きな揺れを地震体験することができます。こうした体験車を呼んで、地域の防災・避難訓練や防災学習の充実強化の啓発を行ってみたいはいかがでしょうか。

お申込みは、お近くの消防本部・消防署へお申し込みください。

詳しくは、秋田県防災ポータルサイトをご参照ください。 <https://www.bousai-akita.jp/>



秋田市総合防災訓練が、令和元年8月30日（金）秋田市本庁舎および秋田市西部地区（新屋地区）で行われ、秋田市社会福祉協議会では、秋田公立美術大学において災害ボランティアセンター設置訓練を実施しました。



編集発行／社会福祉法人 秋田市社会福祉協議会
〒010-0976 秋田市八橋南一丁目8-2
(☎)862-7445 (FAX)863-6068

秋田市社協 実施事業の紹介

日常生活 自立支援 事業

判断能力に不安のある高齢者や知的障がい・精神障がいのあるかたを対象に、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、次のようなサービスを提供しています。

- ①社会福祉サービスの情報提供や利用手続きのお手伝い（①を基本に、②③のサービスを利用できます。）
- ②日常的金銭管理サービス（日常生活に必要なお金の出し入れや公共料金の支払いなど）
- ③書類などの預かりサービス（預貯金通帳、印鑑、証書など）

【サービス開始までの流れ】

- ・相談 ⇒ 秋田市福祉生活サポートセンター（秋田市社会福祉協議会内）へお気軽にどうぞ。 ☎862-0102
- ・訪問調査
- ・申込書類や支援計画の作成 ⇒ 本人の希望を伺いながら、専門員が作成します。
- ・契約 ⇒ サービス提供のための契約を交わします。
- ・サービス開始 ⇒ 生活支援員がサービスを提供します。ここからの援助は利用料がかかります。（生活保護受給者は無料です。）



介護支援 ボランティア 制度

目的 ⇒ 介護予防事業として、介護支援のためのボランティア活動を通して地域に貢献することで、自分自身の社会参加活動を通して介護予防を推進し、生き生きとした地域社会の実現を目的としています。登録ボランティアの愛称は「ほっこりさん」です。

対象者 ⇒ 秋田市内にお住まいの65歳以上（秋田市介護保険第1号被保険者）のうち、要介護認定を受けていないかたで、ボランティア活動ができる健康で体力のあるかた。

特典 ⇒ 各受入機関（介護保険施設等）でボランティア活動をして集めたスタンプをポイントに換えると、1年間で最大5,000円の交付金が受けられます。



ふれあい さん派遣 事業

病気やケガ、産前産後などで家事援助や介助等が必要な世帯に短期間・単発での生活支援をいたします。

- 派遣日時：月～土 午前9時～午後5時（祝日、年末年始は休み）
- 利用料：1時間500円
- 利用期間：1日4時間 原則2週間まで。なお、産前産後については連続して21日まで



～ 秋田市社会福祉大会のお知らせ ～

開催期日	令和元年11月8日（金） 午後1時30分～午後4時20分
会場	秋田市文化会館 大ホール
大会テーマ	「広げよう 命を守る 地域の絆」 ～平成から令和へつなぐ地域福祉をみんなの手で～
内容	式典 表彰状・感謝状贈呈 アトラクション 寸劇「高齢者の安心・安全のまちづくり」 秋田中央警察署 講演 「おせっかいのススメ」 講師 一般社団法人おせっかい協会 会長 高橋 恵 氏

まめ知識（災害時に発令される3種類の呼びかけについて）

【避難準備・高齢者等避難開始】 これから避難勧告などが出される可能性がある災害発生時に発令されます。高齢者や障害のある人など避難に時間がかかる人に避難行動をうながしましょう。

【避難勧告】 災害により人的被害が発生する可能性が高まった場合に発令されます。安全のため、対象住民の方は早めの避難をしましょう。

【避難指示】 避難情報の中で最も拘束力が強く、緊急性の高いものです。災害による人的被害の危険性が非常に高まった場合や人的被害が発生した場合に発令されます。すみやかに避難するようにしましょう。

※下にいくほど危険度や切迫性が上がります。ぜひ覚えておきましょう！！